

木 木 木 [もり]
木 木 木 だより

発行/豊築森林組合
企画・編集/広報委員



「他城のいろはもみじ」

(築上町寒田)

理事会報告

平成28年度の理事会の内容を報告します。
提案された議案すべてが承認されました。

平成28年10月理事会	平成28年6月理事会
協議事項 <ul style="list-style-type: none"> ● 第1号議案 平成28年度上半期収支報告について ● 第2号議案 平成28年度上半期監査報告について ● 第3号議案 固定資産(林業機械)の取得及び処分について ● 第4号議案 冬季賞与支給について ● その他 コンプライアンスについて 	協議事項 <ul style="list-style-type: none"> ● 第1号議案 理事報酬・監事報酬の決定について ● 第2号議案 夏季賞与支給について ● 第3号議案 固定資産(林業機械)購入について ● 第4号議案 組合員増資引き受けについて

この1年間に導入した高性能林業機械を紹介します。



ログローダ 平成28年3月導入



グラップル付10tトラック 平成28年3月導入



フォワード 平成28年8月導入



木材グラップル 平成28年9月導入

全国森林組合大会開催

全国森林組合大会が平成28年11月11日東京砂防会館で全国より約300名の森林組合代表が集まり開催されました。農林水産大臣、林野庁長官をはじめ多くの来賓の出席のもと、佐藤全国森林組合連合会会長より日本の林業が抱える問題、課題について挨拶を行い、大会決議が承認されました。



大会終了後、全国各県の代表者が議員会館を訪問し、地元選出国會議員に大会決議書

大会決議

地球温暖化防止や国土保全など多面的な機能を有する森林を守り育て、資源として循環利用することは、良好な環境や豊かな生活を確保する上で不可欠である。さらに、「地方創生」が叫ばれる中、「林業の成長産業化」への国民の期待はますます高まっている。こうした期待に応え、効率的な国産材供給体制を整備し、林業を活性化させ、地域経済を再生していくためには課題が山積している。また、我々の悲願である森林吸収源対策の安定財源確保については、昨年の与党税制改正大綱で一定の道筋がつけられたものの、その実現が急務となっている。本日、全国の森林組合代表者が一堂に会して、全国森林組合代表者大会を開催し、すべての組合員が協同の力を結集して、多くの関係者との連携のもと、諸課題に一丸となって取り組み、下記事項の実現に邁進することを決議する。

1. 森林吸収源対策等に必要安定財源の確保のため「森林環境税」の早期実現
2. 林業政策の推進に必要な平成29年度予算の確保
3. 「林業の成長産業化」の実現による組合員の所得向上
4. 主伐・再造林の拡大を通じた森林資源の循環利用推進
5. 「緑の雇用」事業、森林施策プランナー育成対策事業による人材の確保・育成
6. 「森林・林業・山村未来創造運動」の着実な実行

平成28年11月11日
全国森林組合代表者大会

pick up 「緑の雇用」事業

「緑の雇用」事業とは、未経験の方でも森林の仕事に就き、林業で必要な技術を学んでもらうため、審査の結果認められた森林組合などの林業事業体に採用された人に対し講習や研修を行うことでキャリアアップを支援する制度です。一人前になるには数年かかるといわれている林業技術者。林業の現場技術者としてのスペシャリストになるには様々な技能を取得する必要があります。「緑の雇用」事業では就業年数に応じて研修の内容をステップアップさせ、将来の林業技術者になるために必要な技能を身につけられる研修制度です。当組合においても、林業の現場技術者としてスペシャリストを目指している6名の研修生を紹介します。

スペシャリスト目指して
がんばってます!!

東西支所から

●東部支所(本所内)
☎0979-82-7529
●西部支所
☎0930-54-0001



間伐作業が遅れると
ひよろ長い木となり
林内も真っ暗になる



豊かな森を 育てるために 「間伐」

森林に苗木を植えてから15〜20年位経ち、木々が成長してくると、林の中が混み合い、隣どうしで枝葉が重なりあうようになりがちです。

木は地面からの養分と日光により成長していきますが、この状態ではそれ以上枝・葉を広げることが難しくなり、お互いに成長を阻害してしまいます。そのままでも少しずつ成長していきますが、写真のようにひよろ長い木になってしまい風害、雪害で折れてしまったり、周りの木の陰となって枯れてしまう場合があります。

そこで一部の木々を間引くことにより枝葉を広げる空間を

作ってあげます。空間が広がれば残された木は枝葉を広げることができ、より多くの光が降り注ぐようになって健全に成長することが出来ます。

このように植栽木の本数を減らし木の成長を促す作業を「間伐」といいます。間伐作業は木の成長に合わせて定期的に行う必要があります。おむね7年から10年周期で行います。

間伐には、切り捨て間伐と搬出間伐があり、山林の状況によって行う作業が異なります。切り捨て間伐は、生育の悪い木や曲がり木を主に伐採し、

残った木の生長を促す間伐です。主に35年生以下の若い林分で行います。

搬出間伐は、切り捨て間伐と同じく木の成長のために行う作業ですが、間伐で伐採した木を材木として販売するために山林から搬出します。

木材を搬出するための作業道を林内に開設し、林業機械を使って搬出します。

搬出間伐に掛かる費用と販売した木材売上を精算し、森林所有者の皆様へ還元(払い戻し)を行います。

当組合では搬出間伐を重点的に取り組んでいます。広い管内を低コスト化・効率的に実施するため、隣接する複数の山林を取りまとめた団地を設定し、森林所有者の皆様へ少しでも還元する額が増えるよう頑張っています。

団地箇所も年々増加しており、設定した団地については、山林調査を行い、見積書(収支計画書)を作成し、森林所有者の皆様へ随時送付させていただきます。

ご理解の上、是非ご協力をお願いいたします。



搬出間伐の様子



搬出間伐事業の 収支実績について



搬出間伐を行った場合にどのくらいの収支になるのかをご紹介します。自分の山林の状況等が分からない場合は支所にお問い合わせいただければお調べいたします。

次の表は昨年実施された、上毛町内の山林と築上町内の山林の収支です。

※搬出距離(山林からトラック道まで)や樹木の生育状況により搬出間伐費の増減があります。また、木材価格は変動しますのでご理解ください。

山林の状況			
所在地	樹種	林令	面積
築上町内	スギ	55年生	0.70ha

収入	
補助金	358,200円
木材売上(約58m)	591,600円
収入計	949,800円

費用	
搬出間伐費	581,796円
市場経費等	260,162円
費用計	841,958円

精算	
払い戻し額	107,842円



搬出間伐事業を行った山林の写真
手入れをした事で山林内に光が差し込み、健全な山林になる事が期待できます。



作業前の写真▶

山林の状況			
所在地	樹種	林令	面積
上毛町内	ヒノキ	64年生	0.96ha

収入	
補助金	367,890円
木材売上(約55m)	697,568円
収入計	1,065,458円

費用	
搬出間伐費	459,972円
市場経費等	260,624円
費用計	720,596円

精算	
払い戻し額	344,862円



搬出間伐事業を行った山林の写真
作業前に比べ、雑灌木が切り払われすっきりとし、木材搬出のための道が整備され山林内を歩きやすくなりました。



作業前の写真▶

豊築森林組合 木材流通センター (上毛町大字東下)

出来値表

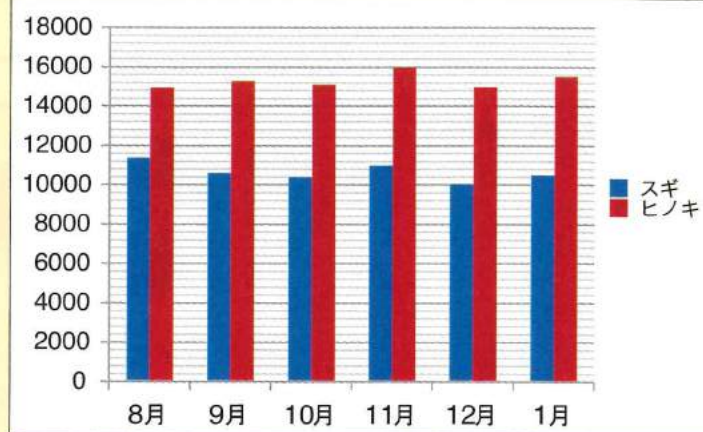
市日 平成28年10月21日

(単位:円/m³, 円/本)

樹種	長さ(m)	径級(cm)	高値(直材)	中値(直材)	小曲材	込	評価
杉	6	18~20					
		22上					
桧	6	18~20					
		22上					
杉	4	10~13				9,000	-
		14~16		12,000	9,000		-
		18~22		11,000	9,500		△
		24~28	12,200	12,000	10,200		-
		30上		11,000	9,000		△
	3	10~13				9,000	-
		14				11,000	-
		16~18		12,000	9,000		○
		20~22		12,800	9,200		○
		24上		12,700	9,000		○
桧	4	10~11				本 500	-
		12~13		14,700	12,000		-
		14~16	18,000	17,500	16,000		○
		18~22		17,200	15,200		-
		24~28	19,000	16,500	15,000		○
	3	30上	35,000	16,500	15,000		○
		10~13				8,000	-
		14		11,500	9,500		-
		16~18		16,500	13,500		○
		20~22		16,000	13,000		○

強気○ 保合- 弱気△

平均単価推移表



8月は出材量が少なかった影響で同年よりも高値を維持した。
 9月・10月は、伐採時期も良く、丸太が痛まないようになったので価格を維持した。
 11月は、製材所の注文が少しずつ動きだし価格が上昇すると思われる。
 12月は、年末なので買いを抑え、価格が下降すると思われる。
 1月は、買いを抑えた影響と例年雪で出材量が減るので価格が上昇すると思われる。



★上毛祭★

10月9日(上毛町 道の駅しんよしみ裏)

大盛況の大賑わいのお祭りでした。



★上毛祭台車レース★

10月9日(上毛町 道の駅しんよしみ裏)

若手組合職員参戦！見事パワーマンズ賞を獲得！



★ちくじょう祭り★

10月16日 (築上町 椎田アグリパーク)

大量の木製品祭り



★丸太切り競争★

(ちくじょう祭り)

豪華景品を狙って白熱バトルが！

自然素材の

京築ブランド館

Forest

PRの手ごたえあり！

色々なイベントに出店してきましたよ！



★ふくおか町村フェア★

10月22日・23日(福岡市天神中央公園)



★来て見てギャラリー★

10月29日・30日(みやこ町犀川蛇淵キャンプ場付近)

イノシシカレー！石窯ピザは絶品！



★京築チャリ散歩★

11月13日(日)(メタセの社内)

西日本工業大学のデザイン科と協力製作のバイクスタンド



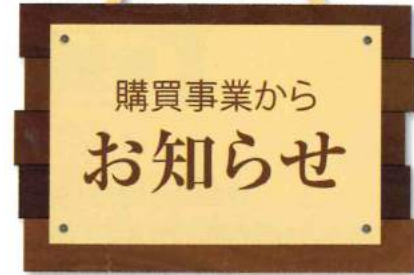
築上町農林業元気づくり協議会では、色々な木工製品の開発に取り組んでおります。

※京築ブランド館では、只今出荷者を大募集しております！お気軽にお問い合わせください。

平成28年度苗木、種駒価格表

	品目	規格	予定価格(税抜)
苗木	ミスギ	2年1号	80円
		2年2号	77円
	ヒノキ	2年1号	87円
		2年2号	81円
	クヌギ	1年1号	78円
		1年2号	67円
	クロマツ	2年2号	66円
種駒等	春駒	1000個	3100円
	春秋駒	1000個	3100円
	平茸(駒)	1000個	3100円
	平茸(菌)	900cc	1000円
	ナメコ(駒)	1000個	3100円
	ナメコ(菌)	900cc	1000円
	クヌギ原木	長1m 径約6~15cm	300円
	クヌギ植菌	長1m 径約6~15cm	800円

※苗木は25本単位でお申し込み下さい。
 ※原木は本所・支所渡し価格です。



今年も造林用苗木及び種駒の予約申込を行います。森林だよりに申込書を入れていただきますので、購入希望者は数量等を記載の上、最寄りの本所、支所まで提出をお願いします。

「竹・笹を枯らすには」

メダケ等の小径類
 塩素系のデゾレート粒剤を散布する。
 (四月～十月)

笹を長期抑制するには
 フレノック粒剤を散布する。
 (四月～十月)

孟宗等の大径類
 ラウンドアップハイロードを節間に穿孔注入する。
 (六月～十一月)

きのこ栽培 ちよっと アドバイス

①原木伐採時期
 ●落葉樹10月中旬～12月初旬

②葉枯らし期間
 ●落葉樹30日～90日程度
 ●常緑樹1～2週間程度

③きのこ栽培に適している樹種
 ●椎 茸…クヌギ・コナラ・シデ類・かし類等
 二夏経過後、10月中旬頃から発生
 ●平 茸…クルミ・ヤナギ・ホウノキ・エノミ等
 菌床は一夏経過後、種駒は二夏経過後10月頃から発生

☆栽培方法がわからない場合は、支所職員にお尋ね下さい。

information-1
森林作業員募集

森林組合では森林作業員を募集しています。森林作業に興味のある方、地元で働きたいと思っている方。現業職員登用制度があります。
 詳しくは本所・支所までお問い合わせください。

information-2
名義変更手続きのお願い

組合員が亡くなった場合は名義変更(相続加入)の手続きをお願いしています。
 手続きに必要な書類は
 ●相続人死亡と続柄がわかる書類(戸籍謄本の写し等)
 ●本人確認が出来る書類(運転免許証等)
 また、組合で未相続とわかる組合員さんには、相続手続きの書類を送付する場合がありますので、この際、手続きをお願いします。変更手続きを行っていない場合、組合からのお知らせ等が遅れるなど組合員の皆様にご迷惑をお掛けすることになりますので忘れずに届け出てください。手続きは本所・支所で行っています。

編集後記

豊築地域は昔からヒノキの産地で、柱、長押、床板、羽目板にヒノキを多用した家づくりを展開してきた。ヒノキ普請といえは高級な家というイメージで「ヒノキは別格」と思われてきた。しかし、最近のヒノキに対する市場の需要動向がどうも芳しくないようだ。大壁工法が主流で、柱が見えない家が多くなっておりヒノキの柱を使わずスギを代用している。使われるのは土台のみ。豊築地域は人工林の内、ヒノキ林が6、スギ林が4の割合で植栽されておりスギの需要が多くなるのは悪いことではないが、やはりヒノキの需要が減少しているのは残念である。

木目を通り、斧や楔で打ち割ることによって製材できるヒノキは古くから建築材料として用いられてきた。「古事記」にスサノオ神話の中で、ヒノキを建材として使うことが示唆されている。特に寺院、神社の建築には必須で古くから重宝された。伊勢神宮では20年に一度、社を新しく建て替える式年遷宮と呼ばれる行事が行われ、大量のヒノキが使われてきた。神の木と言えるヒノキの価値が昔のように高まることに期待したい。

ヒノキの価値が怪しくなってきた